



発行所 滋賀県行政書士会
 発行人 田中章五
 編集人 山口秀子
 大津市京町三丁目4-22(滋賀会館3階)
 発行日(月刊)
 平成15年12月10日

盛武隆名誉会長に平成15年秋の褒章

本会の盛武名誉会長は、多年の行政書士活動による業界発展の貢献により、11月13日黄綬褒章を受章されました。

30年以上にわたる行政書士活動に加え、89年から12年間の滋賀県行政書士会会長、97年から3期6年間の日本行政書士会連合会会長を歴任され、行政書士の地位向上と発展に尽力された多大の功績が評価されたもので、本会にとっても大きな喜びであります。

この名誉あるご慶事を心からお祝い申し上げますとともに、益々のご健勝とご活躍をお祈りいたします。



前期事業報告(これから後半戦です)

副会長

小山

篤

師走の声を聞き、あっという間の半年間だったと感じているのは私だけでしょうか。今年度新しく役員になられた方は特にそう感じておられるのではないのでしょうか。今年6月3日の理事会以降各部各部会により計画され、これまでに実施しました主な事業は、

- ・新規登録会員研修会(組織、業務の説明など)
- ・基礎業務研修会
- ・行政書士制度強調月間
- ・行政書士試験
- ・自由業団体幹事会としての無料相談会
- ・暮らしの無料相談への派遣
- ・専門部会研修会

等々。継続事業としての会報発行、常設無料相談所開設、それらに伴う部会、専門部会、専門研修会、役員会、関係機関団体との協議など、詳細は今までの本誌面の会務日誌や参加者の報告文に掲載されていますが、役員を始め多くの会員のご協力により順調に会の事業は推進されています。その間に事務局も3階に移転しました。広くなったことで、会議等がしやすくなったことと、非常に居心地がよくなり訪れる会員も増え、これも会の活性化に繋がっているものと思います。

会員のための有効な研修を前提に実施されている各業務部会の研修も、会員の意欲の表れか昨年を上回る参加者があり、最新業務情報の連絡も本会ホームページに即座に掲載され会員の能力向上と事業推進に効果

を上げています。また、本年度は支部長を理事とせず、各支部の活動に全力を挙げていただいておりますが、研修会等活発に活動されており、特に強調月間における支部独自の折り込みチラシの効果は大きく、今後の本会事業にも活用を検討すべきであると考えます。

残る主な事業は、合同研修会(16年1月17~18日)、各業務部会研修会(随時)、来年8月施行の行政書士法改正(法人化、研修義務化など)に伴う会則改正準備などですが、相談者が減少傾向にある常設無料相談所のPR方法の再検討も必要です。許認可申請時の専用紙(台紙)の使用を進めることや、また、法律専門職としての能力担保の研修や知的財産権研修、すでに運送事業申請等多くがオンライン申請可能となった国、関係機関への電子申請、来年度には各種調達・入札等の実証実験を始める県への対応など、検討すべき課題は少なくありません。

今年度入会者は20名を超え、5年ぶりに会員数400名を超えました。今年の行政書士試験志願者が1000人を超え、会員が3年前に初めて試験に参加実施した時の2倍になりました。今後、会員はまだ増加しそうです。みんなが意見を出し合って、希望のもてる行政書士制度実現に向け、努力していかなければなりません。今年度の目標としている「みんなが自主的に作る行政書士会」を進め、組織強化と業域確保を目標に、会員の意見、提案が反映される会づくりを推進していきますので、さらなるご意見ご要望ご協力をお願いいたします。